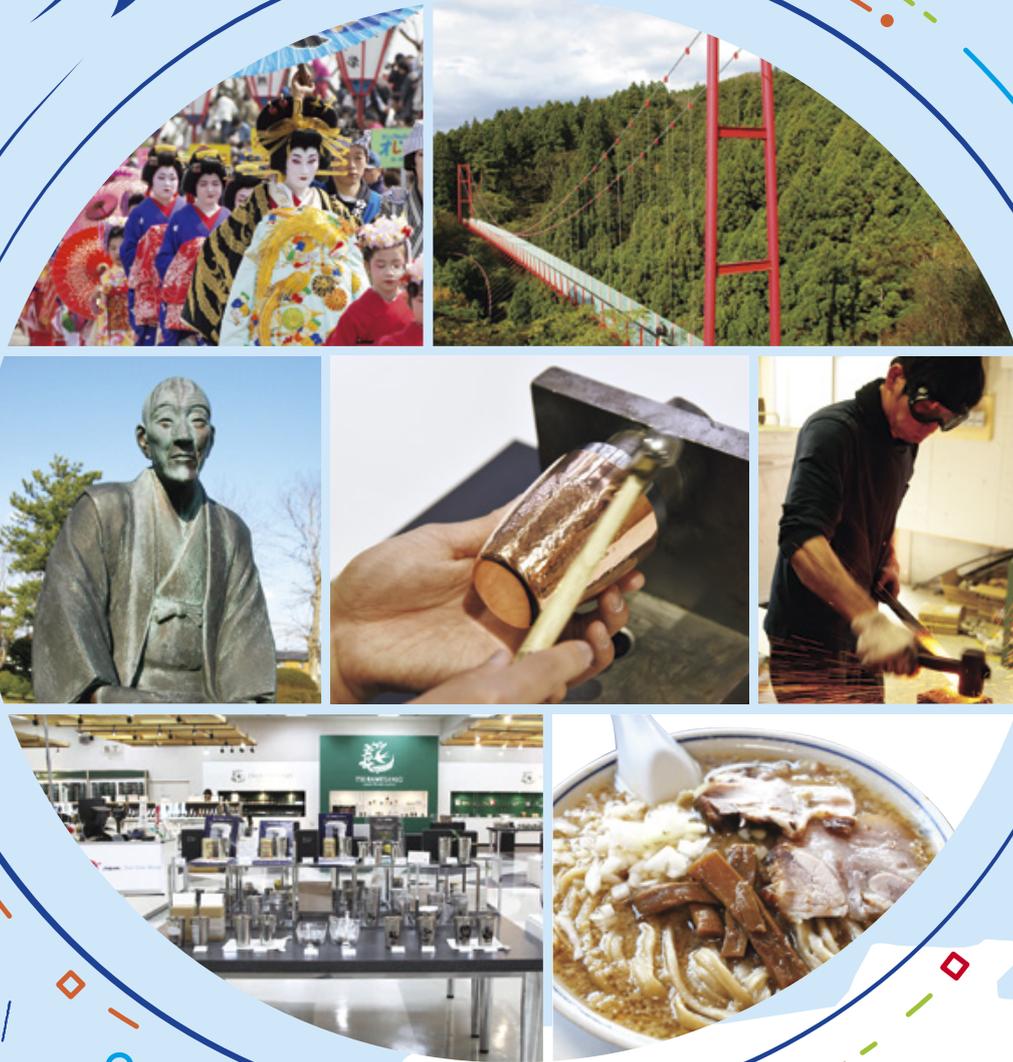


つばめぐい

Tour Guide for Tsubame-city



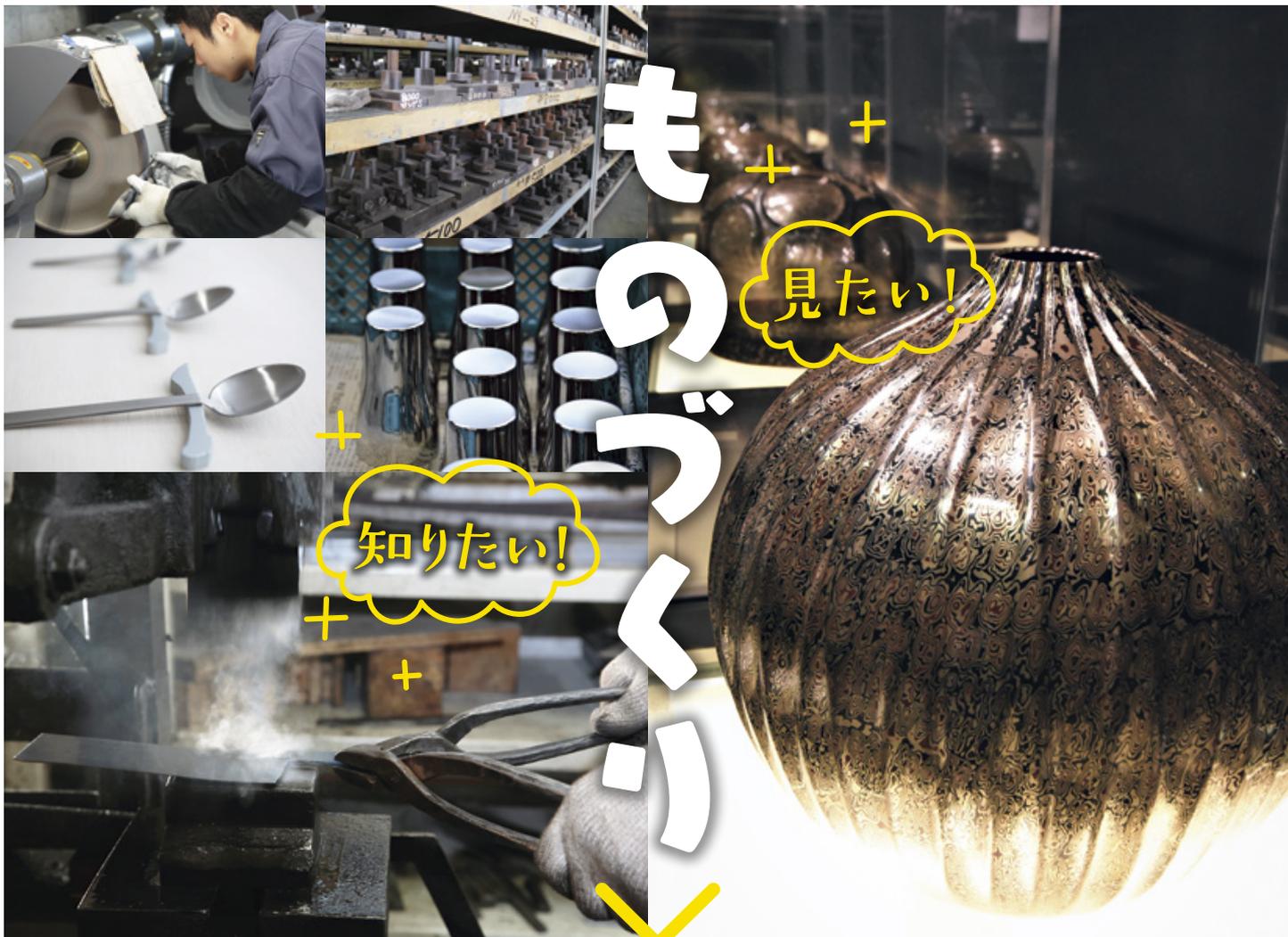
体験プログラムも！

メイド・イン・燕の
技術は世界中に！

燕をぐるりと

イロトリドリな魅力探しの旅に
出かけませんか





ものづくり

見たい!

知りたい!

観光

江戸時代に農家の副業として取り入れられた和釘づくりがものづくりのまち燕のルーツ。世界から注目される数々のスゴわざを巡りながら、現代に受け継がれる職人たちの熱い情熱を感じてください。

世界に誇る伝統の技を見に行こう

燕の金属加工産業は、江戸時代初期、信濃川の氾濫に苦しむ農民の副業として始まった和釘づくりに起因するといわれている。1700年代に入ると、鋳起銅器、ヤスリ、キセルなどさまざまな産業が生まれ、盛んとなるが、明治維新以降、西洋文化の導入や度重なる不況などにより、厳しい局面に立たされることとなった。しかし、第一次世界大戦を契機に、諸外国から金属洋食器の供給が日本に求められ、試作注文が燕に寄せられた。長い間養った高度な金工技術をもとに、燕市は金属洋食器の大量生産に成功。輸出によって外貨を稼ぐという活

工場見学へ行こう!



路を見いだした。第二次大戦後は、ステンレス加工技術の発達などにより、金属ハウスウェア産業が誕生。現在では、ありとあらゆる金属製品を生産しているが、その根底にあるのは燕の職人たちのあくなき技術追求である。燕市には、400年にわたり受け継がれてきた高度な技術を間近で見学したり、職人と言葉を交わしたりできる企業や施設が多くある。ぜひ足を運んで、その魅力を体感しよう。



ノーベル賞の晩餐会で使われるカトラリーもメイドインツバメです。

燕ものづくり400年がここに集結!

燕市産業史料館

“ものづくり観光”のスタートはここから! 燕市の金属加工産業発展の歴史を伝える史料館では、江戸時代初期の和釘作りをはじめ、ヤスリ、キセル、鎚起銅器、彫金の製作工程と作業場の復元展示や現在も活躍する金工作家の作品を展示する。燕を支えてきた金属加工産業の変遷が実物とともに分かりやすく説明されて、見応え十分。江戸時代から続く、ものづくりのまちの職人技を見るだけでなく、体験もできる。常設展示のほかに定期で開催されている企画展も楽しみ。

所 燕市大曲4330-1 ☎ 0256-63-7666

🕒 9時～16時30分(入館は閉館の30分前まで)

📅 月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始

💰 大人400円/小・中学生、高校生100円(団体割引有り)



体験工房館

史料館に併設の工房館。タンブラーの鎚目入れやチタン発色、伝統工芸技術などの体験メニューを多数ご用意。作ったスプーンやタンブラーはお持ち帰り可能。(5ページで体験内容を紹介)



無形文化財にも指定される
伝統の技

株式会社 玉川堂 ぎょくせんどう

1816年創業。江戸時代から続く、燕市の伝統工芸・鎚起銅器の老舗。新潟県より「新潟県無形文化財」、文化庁より「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財」、経済産業大臣より「伝統的工芸品」に指定されている。これまで300人以上の鎚起職人を輩出してきた。鎚起銅器は、銅を叩いて延ばすのではなく、叩きながら縮めていく。一枚の銅板から職人の手によって打ち出される銅器は、使えば使うほど手になじみ、味わいのある光沢を帯びてくる。

所 燕市中央通2-2-21

☎ 0256-62-2015

🕒 10時～、11時～、13時～、14時～、15時10分～

📅 日曜日、祝日



人間国宝 玉川宣夫氏

1942年、三条市(旧下田村)生まれ。59年、玉川堂に入社。96年、玉川堂を退社し、制作活動に専念。2002年、紫綬褒章を授与される。10年、重要無形文化財保持者(人間国宝・鍛金)に認定。燕市名誉市民を受称。12年、旭日小綬章を授与される。



※掲載工場の見学について、詳しくは各企業へお問い合わせください。

「切れ味のもう一歩先」が見える場所

とうじろう 藤次郎 株式会社

「藤次郎オープンファクトリー」

日本国内でも数少ない一貫生産の設備を整えている包丁メーカー。日本の包丁製造の伝統技術の中でも「抜き刃物」と呼ばれる刃物の製造を武器に、異種素材を組み合わせた複合材包丁で世界でもトップクラスのシェアを誇る。ナイフギャラリーでは、多種多様なラインナップの販売や包丁のメンテナンスも可能。機械だけでなく、職人の手仕事から生み出される「藤次郎/TOJIRO」包丁を実際に手に取ってみる事ができる。

所 燕市吉田東栄町9-5 ☎ 0256-93-4195

🕒 10時～18時(ショップ)、10時～17時(工場) 休 日曜日、祝日(土曜日不定休)

※ 12時～13時、15時～15時10分は工場は稼働しておりません。入場は可能



F T S M A N S H I P

燕から世界へ! 北欧デザインとの出会い

株式会社 大泉物産

1943年創業。全世界で愛用されているデンマークの著名デザイナー、カイ・ボイスンがデザインした「Grand Prix」とデンマーク王室より叙勲されたデザイナー、オーレ・パルスビーが手掛けた「ICHI」を世界で唯一製造する権利を有する。

カトラリー以外にも高度なステンレス加工技術でさまざまなものづくりを行う。



所 燕市小関151

☎ 0256-63-4551

🕒 8時30分～12時、13時～17時30分(要予約)

休 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

イベント情報などはHPをご覧ください。
<https://www.ohizumibussan.jp>

「磨き屋」への道を支援する

燕市磨き屋一番館

燕市の金属加工産業の基盤となる金属研磨業の後継者の育成、新規業者の促進、技術の高度化などを目的とした研修施設。卓越した技術者「にいがた県央マイスター」が指導にあたる。

事前予約で見学や磨き体験もできる。職人の技術は一見の価値あり。



所 燕市小池3633-7

☎ 0256-61-6701

🕒 9時30分～12時、13時30分～16時(要予約)

¥ 工場見学無料、スプーン磨き体験300円、ピアカップ磨き体験(大人用)1,500円

休 日曜日、祝日、年末年始(土曜日不定休)

※掲載工場の見学について、詳しくは各企業へお問い合わせください。

金型技術を次世代へつなぐ

株式会社 武田金型製作所

FACTORY FRONT

1978年創業の武田金型製作所。扱いやすく、高品質、短納期と時代に合う精密部品などのプレス単発・順送金型を製造。2005年に立ち上げた自社ブランドでは自社の技術にライフスタイルやファッションの要素を加えた名刺入れやスマートフォン背面パーツが評判に。

FACTORY FRONTは工場だった場所を再活用したショップになっている。工場の町のセレクトショップとして燕三条だけでなく全国各地の"新しい定番品"を取り扱う。

株式会社 武田金型製作所

所 燕市東太田16-1 ☎0256-62-3234

🕒 9時～11時、13時～15時(要問合せ)

休 土曜、日曜、祝日

FACTORY FRONT

所 燕市東太田14-3 ☎0256-46-8720

🕒 10時～18時(体験は15時まで。要問合せ)

休 不定休

「真ちゅうのアクセサリづくりと

「スプーンづくり」

前日までに要予約。



T S U B A M E C R A

「へら絞り」を中心とした金属加工業

ミノル製作所 株式会社

「へら絞り」とは、金属の棒を練り「てこの原理」を利用して、金型に合わせて一枚の金属板を成型する技術。20～30代の若手集団で、後継者の職人の育成にも取り組んでいる。



所 燕市小高995 ☎0256-47-1364

🕒 9時～12時、13時～17時(要予約) 休 土曜日、日曜日、祝日

数々の逸品を生み出す洋食器メーカーの老舗

株式会社 トーダイ

1953年創業。ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール2017のグランプリ受賞のカトラリーのほか、熱伝導率が良く固いアイスクリームも食べやすいアルミアイススプーンなど、様々なヒット商品を生み出す。

2018年7月にオープンした新工場では、スプーンやフォークの製造工程を見学できる。

2階からは工場全体を見渡すことができるほか、カトラリーの新全製造工程がサンプル展示とともに解説されている。



※二次元コードから製造工程の動画をチェック!

所 燕市杉名字杉名810-1

☎0256-63-5361

🕒 10時～16時

※1週間前までに要予約

休 日曜日、祝日(土曜日不定休)



燕のものづくりの技術の高さに感動!

※掲載工場の見学について、詳しくは各企業へお問い合わせください。

つばめ体験プログラム

職人技を手軽に体験できるプログラムがたくさん！ ものづくりの街の魅力を体感しよう

磨く前は曇っていた
ピアカップも
こんなにピカピカに！



「ものづくりのまち」として古くから栄えてきた燕市。その魅力を様々なプログラムで体験できる。金属加工の技術を体験できる一部をこのページではご紹介。お休みの日もあるので、やってみたい! と思ったらまずはお問い合わせを。その他にもネイチャーガイドと歩く国上山エコトレッキングやフルーツ狩りなどの体験もあります。

詳しいお問い合わせは燕市観光協会へ。

HP:<https://tsubame-kankou.jp/> TEL:0256-64-7630



ピアカップorスプーンの磨き体験

燕の磨き職人の指導を受けながら、自分だけのピアカップ磨きに挑戦。子どもにはスプーンを用意しているので親子での体験も可能。会場の燕市磨き屋一番館内の見学もできる(体験・見学ともに要予約)。

- 場所：燕市磨き屋一番館(燕市小池3633-7)
 - 料金：ピアカップ(大人のみ)1,500円、スプーン300円
 - 問い合わせ：燕市磨き屋一番館 ☎0256-61-6701
- ※開催日限定。詳しくはお問い合わせください。



体験動画はコチラ



つちめ 純銅タンブラー 錠目入れ体験

純銅のタンブラーなどの表面を金づちで叩いて錠目模様を入れる。オリジナルカップは持ち帰りできるので、自宅でビールやお酒を味わってみて。

- 料金：タンブラー2,200円/ショットグラス1,700円/ぐい呑み1,700円(別途入館料)



すす 錫・洋白ショットグラス 錠目入れ体験

古くから燕で使用されてきた高級素材・洋白や錫のグラスに、金づちで錠目模様をつけ、研磨布で表面を磨いて艶をだす。

- 料金：錫 2,800円/
洋白 2,000円(別途入館料)

錫ぐい呑み製作体験

錫の板をケヤキ材の皿状の型にあて、木槌で叩き、ぐい呑みを作る。錫は金属の中でも柔らかく、手軽に鍛金技術に触れられる。

- 料金：2,500円(別途入館料)

チタン製スプーン 酸化発色体験

酸化発色技術によって、チタン製スプーンに色をつける。色は24種類もあるので、好みのカラーを選んでみる。

- 料金：アイスクリーム
スプーン 500円/
コーヒースプーン
700円
(別途入館料)

体験動画はコチラ



「木の葉」づくり彫金体験

赤く色づけされた「木の葉」の形の銅版に、葉脈をタガネ(道具)を使って打ち込んで制作。箸置、ブックマーク、キーホルダーの3種類からチョイスして。

- 料金：箸置800円、
ブックマーク・キーホルダー1,100円
(別途入館料)



ついきどうき 錠起銅器の小皿づくり体験

1枚の丸い銅版をいろいろな模様の金づちで叩いて、素敵な小皿を制作。地場屈指の「匠」指導のもと、初心者でも安心して楽しめる。

- 料金：800円(別途入館料)



- 場所：燕市産業史料館(燕市大曲4330-1)
 - 問い合わせ：燕市産業史料館 ☎0256-63-7666
- ※開催日限定。詳しくはお問い合わせください。

※体験内容および料金は予告なく変更する場合があります。

みんなに愛された和尚さま
良寛さま

月見の松

江戸時代の儒学者・亀田鵬斎

が訪ねてきたとき、酒を買いに行つた良寛が戻らない。鵬斎が迎えに

行くと、五合庵の近くにある松の

根元に腰をおろし、月に見とれて

いる良寛を見つけました。良寛は

心身の安定を図っていた

のでしょか…。



竹の子

五合庵の脇の便所に生えてきた竹の子が伸び、

屋根につかえそうになりました。かわいそうに思っ

た良寛は、ろうそくに火をつけて屋根に穴をあけ

ようとしましたが便所をみんな焼いてしまいます。

生きものを慈しむ心が伝わります。



良寛さまって
どんな人？



良寛が厳しい修行と諸国行脚の末に移り住み、
長く定住した国上山。
慎ましかな暮らしの中で生まれた詩歌や書をはじめ、
良寛の人柄を示す多くの逸話が語り継がれている。

天上大風

燕で托鉢を終えた良寛が中ノ口川の堤で

子どもたちの凧揚げを見ていると、子どもが「凧にしたいので

紙に「天上大風」と書いてほしい」と頼んできました。良寛は喜

び、書いて与えます。子どもたちの頼みには快く応じました。



良寛とは 1758年、越後出雲崎生まれ。岡山の円通寺(曹洞宗)での厳しい修行を終え、完全な人間になるための道筋を学び、実行できる人を目指した。燕市時代ではひとり山に住み、座禅を行い、托鉢にまちを巡り、仏の教えを愚直に実践し、富者貧者を問わず、広く交流を図った。慈愛に満ちた振る舞いから多くの人々が共感と信頼を寄せた。一方、漢詩、和歌、書をよく研究し、良寛独自の境地を拓いた。和歌は1200首、漢詩も450首を超えともいわれる多数の芸術作品を残し、夏目漱石、川端康成をはじめ多くの文人、画家からも高い評価を得ている。

手まり

子どもたちと手まりで遊んだ良寛の心を今に伝える「良寛手まり」。ぜんまいのわたやもみがらを芯に、複雑な模様を丹念な刺繍で仕上げている。



文化10年(56歳)頃の絵。
絵は画家の三森九木が、
詩は良寛が書いた。



燕市分水良寛史料館

自然を愛し、人々を愛し、芸術を愛した禅僧、良寛の足跡を今に伝える史料館。ここでは良寛にまつわる詩・歌や書を見ることができ、乙子草庵に移り住んだ後年は「良寛芸術」と称される格調高い書を完成させた。重要文化財が展示される特別展にも注目。

所 燕市上諏訪9-9 ☎0256-97-2428 🕒9時～16時30分

休 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

入 大人:300円 / 学生・高校生:200円 / 小中学生:100円(団体割引有り)



建物は1914年に再建された。
(新潟県指定史跡)



五合庵

ごごごあん

良寛、五感を研ぎ澄ませます

国上寺の僧侶たちの4つの塔頭(たつちゆ)※のひとつで、国上寺を再興した萬元上人のための庵として作られた。1797年、良寛40才の頃からおよそ20年間過ごした。国上山の中腹に位置しており、座禅の行の実践の場で、ここを拠点に托鉢行脚に出かけた。良寛は多くの人たちに慕われており、遠くは江戸の儒学者・龜田鵬齋や歌人・国文学者の大村光枝などが訪れている。書では唐時代の懷素、かいての自叙帖(じじょじょ)「小野道風の「秋萩帖(あきはぎじょ)」「などを熱心に勉強した。良寛作品の代名詞とされる「天上大風」は五合庵時代の晩期以降に書かれたものとされる。五合庵の名前は、萬元上人が寺から粗米五合に相等する手当を支給されたことに由来するとされる。

※塔頭とは開祖や高僧の死後、遺徳を慕って建てられた塔(墓所)を守るための施設で、寺院を護持している僧侶などが住む。



国上山

くがみやま

県の天然記念物ブナ林を散策

標高313.2メートル。山頂からは分水地区や大河津分水が一望できるほか、遠く守門岳の雄姿も。晴れた日には佐渡や能登半島が見えることもある。この山に見られるブナ林は国上寺裏の海拔180メートル辺りに生息し、「低地に残された希少なブナ林」としての価値が高く、1993年に県の天然記念物に指定された。トレッキングはビジターサービスセンターから山頂への中級者向けコースや史跡をめぐるコースなどが整備され、四季折々に散策を楽しめる。



国上寺

こくじょうじ

開山1300年の 越後最古の名刹

元明天皇709年に越後の宮彌彦神社の宣託により建立された、県内最古の古刹。2009年に開山1300年を迎えた。上杉謙信が寺の千手観音を信心していた話が有名。また、上杉景勝や直江兼続ゆかりの文書も残る。境内には本堂のほか客殿、六角堂、太師堂など重厚な建物が並び、参道には老杉が立ち並び、静謐とした空気に包まれている。

良寛さま
ゆかりのお寺で
身も心も穏やかに

良寛さまが
過した所は
ぜひ見てみたいよ



国上山ボランティアガイド「はちの子会」
五合庵や国上寺など、良寛ゆかりの史跡をご案内します。
問い合わせ／一般社団法人 燕市観光協会 TEL0256-64-7630

良寛さまも愛した国上の自然を歩く

乙子神社草庵

おとこじんじやそうあん

良寛芸術円熟の地

1816年、59才の頃、五合庵を出て、国上山のふもとの乙子神社の庵に暮らした。境内では子どもたちと「てまり」でよく遊んだと言われている。ここでの10年間で良寛芸術の円熟期とされている。良寛はこの地で晩年の境地を詩に読んだとされている。乙子神社境内には1858年に建立された石碑があり、「生涯懶立身 膾々任天真」※で始まる碑文にはその境地に触れられる詩歌が刻まれている。現存する良寛の詩歌碑としては最も古いものである。

※生涯身を立つるに懶(ものごとく)膾々(とうとう)として天真に任すと読まれる。



現在の建物は良寛救慕者の浄財により再建された。(新潟県指定史跡)

千眼堂吊り橋

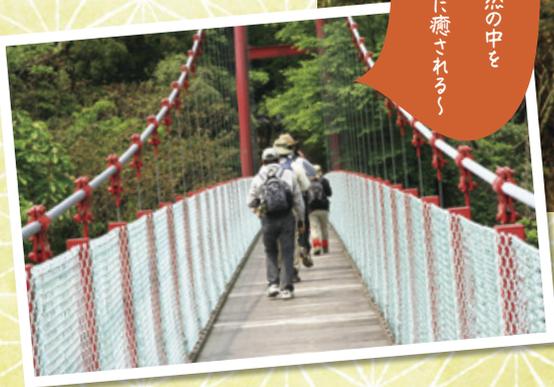
せんがんどうつりばし

谷底から35m絶景を望む

良寛ゆかりの国上山の中腹にあり、朝日山展望台と五合庵を結ぶ、長さ124メートル、幅1.5メートルの赤い吊り橋。展望台からは遠く日本海から国上山の雄大な自然を一望できる。春の新緑をはじめ、燃えるような紅葉、雪化粧に包まれる姿など、四季折々の美しい眺めはヒーリング効果も抜群。1993年に「新潟の橋50選」に選ばれた。



雄大な自然の中を
空中散歩
美しい眺めに癒される



まめ知識

長善館では休憩時間の長さを計るのに線香を使っています。1本の線香が燃え尽きるのがおよそ20分。午前に1本、昼食後に半本、午後に1本の休憩時間がありました。



80年続いた私塾。輩出した偉人は数知れず

長善館は、1833年、鈴木文臺(ぶんたい)によって当時の粟生津(あおうづ)村に創設された私塾。1912年に閉鎖されるまでの約80年間、1,000人を超える塾生が学んだ。18歳のころ、良寛に才能を認められた文臺は、その後も良寛と親交を続ける。信濃川の洪水に苦しむ人々を救いたいと願う良寛の心が、長善館の教えの中に生きることになったのは必然と言えるだろう。そして、その教えは、日本医科大学の前身である済生学舎を創設した長谷川泰や、大河津分水建設のために奔走した鷺尾正直、高橋竹之介、大竹貫一などに受け継がれた。彼らの行動の原動力となったのは、「苦しむ人々を救いたい」という一途な願いだった。

〒 燕市粟生津97 ☎ 0256-93-5400 🕒 9時～16時30分

📅 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

🎫 小・中・高50円、一般100円(20人以上の団体は2割引き)

燕市長善館史料館

つばめしちやうせんかんしりょうかん



▲動画はコチラ

つばめ桜まつり



分水おいらん道中

燕に春の到来を告げる、伝統行事。

大河津分水水路事業の完成を記念して植えられた約2,600本もの桜が満開の時期を迎える4月第3日曜日、全国でも珍しい「分水おいらん道中」が行われる。

その起源は1924年、花見の時期に地元有志たちによって開催された仮装行列から始まった。1934年には分水の桜と景勝を全国に宣伝するために「分水花見の会」が発足し、一人の芸妓をおいらんに仕立て、添え役のかむろ二人を従えて道中する今の「おいらん道中」のスタイルが生まれた。

信濃太夫・桜太夫・分水太夫の3人のおいらん役が総勢約60人もの付き人を従え、豪華絢爛な衣裳に身を包んだ太夫たちが、高さ15センチの高下駄をはいて外八文字（そとはちもんじ）という独特の歩き方で練り歩く光景は、花絵巻のような華やかさだ。



大河津分水を知る



大河津分水 通水100周年
The Ohkoku Diversion Channel 100th Anniversary

2022年に通水100周年を迎える大河津分水。
越後平野を洪水から守り、日本一の米どころにした、世紀の治水事業！

日本一の大河・信濃川は、ひとたび豪雨ともなれば大水害をもたらし、多くの人々を苦しめる「暴れ川」だった。その信濃川の洪水を日本海へ流し出すことで、人々を水害の苦しみから解放しようと考えられたのが、大河津分水水路の建設である。延べ1,000万人もの人々が従事するなど世紀の大工事で生まれた大河津分水路は、越後平野を水害から守り、日本有数の穀倉地帯として発展させた。2022年には、通水100周年を迎える。

信濃川大河津資料館

信濃川と大河津分水の歴史と役割を伝える資料を展示する。信濃川の治水100年事業として1978年に開館し、2002年にリニューアル。雄大な信濃川や大河津分水の風景を楽しめる展望台や大河津洗堰の魚道観察室も楽しい。



所 新潟県燕市五石 ☎ 0256-97-2195 🕒 9時～16時
休 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始 🎫 無料



可動堰



体験水路では、水の中に入って魚やザリガニを捕まえることができます。

大河津橋

大河津分水

本川橋

信濃川

大河津分水桜並木

「日本さくら名所100選」にも選ばれている大河津分水路の桜並木。堤防に植えられた約2,600本のソメイヨシノは、大河津分水路が通水する10年ほど前の1910年から植樹が始まった。毎年4月上旬から中旬のつばめ桜まつり期間中は、夜桜ライトアップも行われ、散歩やドライブを楽しみながら、美しく咲き誇る桜を満喫できる。(燕市五千石地内)

八王寺の白藤

毎年、5月上旬から中旬にかけて樹齢推定350年の白藤が満開に。1本の木から無数の枝が四方に広がり、白い花から優雅な香りが境内いっぱいにたちこめる。新潟県で一番の大きさを誇る。新潟県指定天然記念物。安了寺(燕市八王寺962)

※駐車スペースに限りあり



少し疲れたら
温泉でリフレッシュ♪

おすすめ
観光
スポット

もっとつばめが好きになる

これまで紹介してきた以外にも市内には、まだまだ魅力あふれる、おすすめスポットがいっぱい! 燕に来たらぜひ、チェックして。



ふれあいパーク久賀美

☎ 9時~17時30分 休 月曜日

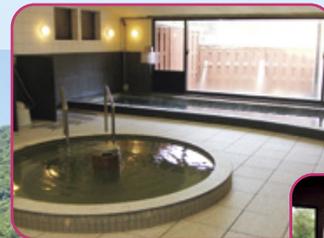
売店・直売所

☎ 10時~17時30分

※直売所は商品なくなり次第終了

休 月曜日(祝日の場合は翌日)

☎ 0256-98-0770



日帰り温泉

ふれあいパークてまりの湯

☎ 10時~21時(受付は20時30分まで)

休 第2~4月曜日

¥ 10時~17時 大人500円

17時以降 大人300円

足湯 酒香童子の湯

☎ 10時~17時30分

休 月曜日

☎ 0256-97-1755



食堂 味処花てまり

☎ 平日 11時~15時30分

土日祝日 11時~16時30分

休 月曜日(祝日の場合は翌日)

道の駅「国上」

国上山の麓にある自然豊かな道の駅。直売所では採れたて新鮮野菜が大人気。売店では燕の洋食器や銘菓を販売。食堂ではラーメンや、燕市産コシヒカリを使ってごはん物を提供。「ごま塩おにぎり」と手づくり「そは粉アイスクリーム」が人気。源泉掛け流しの日帰り温泉や、無料の足湯も完備。ドライブの疲れは温泉でリフレッシュ!

所 燕市国上5866-1



国上 健康の森公園

☎ 24時間

燕と言ったら
はずせない!

背脂ラーメン × 産業

職人の為に作られ、
今も昔も職人の胃袋を
満たしてきた燕のソウルフード

燕のご当地グルメの代表格「背脂ラーメン」は、昭和30年代の高度成長期に輸出用の金属洋食器の製造で忙しい工場から出前が殺到したことから誕生した。特徴的な極太麺は、出前でものびにくいように改良。また、汗をかいて働く職人たちに合わせて煮干しなどの魚介類の出汁が効いた醤油味の濃いスープに豚の背脂を浮かし、深い旨みを加えた。この背脂によってスープが冷めにくくなり、仕事が忙しく、出前直後に食べられない職人たちを喜ばせたという。現在もさらなる進化を続ける「背脂ラーメン」は、市内の至る所で味わうことができる。

女性でも美味しく
食べられますよ♪



この二重構造が冷めない秘密。こんなところにも燕の職人技が!



メタル丼

ピアカップから閃いたメタル丼は、スープが冷めにくく、触っても熱くない。丈夫で割れないのも特徴。ステンレス加工の全ての要素が詰め込まれた、燕の熟練職人たちによる逸品。



杭州飯店

こちらの「中華そば」が燕背脂ラーメンの元祖であり、常に行列ができて一番の人気店。極太麺と煮干しが香る濃口醤油スープに、大量に入っている背脂の甘味が溶け合う。

所 燕市燕49-4 ☎0256-64-3770
◎平日:11時~14時30分、17時~20時ラストオーダー(LO) 土日祝:11時~20時ラストオーダー(LO) (商品が無くなり次第終了します。) 休 月曜日(月に2回 月曜日、火曜日連休有)、月曜日の場合翌日休



まとめ知識

燕市民は、背脂ラーメンの脂の量を自分好みに調節します。「今日は大脂にしようかな」など、注文するとき、脂の量も一緒に伝えるのです。

燕三条Wing



フリー Wi-Fiスポットを利用した観光情報の入手ができる。各デザイン賞受賞商品をはじめとする優れたデザインと高品質な燕三条製品を中心に展示販売。また休憩コーナーも充実。

所 三条市下須頃502-3
(JR燕三条駅2階)
☎0256-34-7310
🕒10時～18時30分 休 年末年始

ハイグレードストア



高品質なキッチン製品をはじめ、燕ならでは「メタル丼」からカトラリーなど、手に取って選ぶことができる。コーヒースタンドを併設しているため、気軽に商品について相談しながら、じっくりと商品を選んでみては。

所 燕市杉柳912-1
☎0256-64-8125
🕒10時～17時
休 日曜日、祝日、年末年始

燕三条・ファクトリーアウトレット ストックバスターズ燕本店



約150社のハウスウェア、キッチンウェアを中心とした、メーカー直結のファクトリーアウトレットショップ。メーカーおすすめの燕三条地域の逸品も地域最安値で販売している。

所 燕市物流センター2-16
☎0256-63-2511
🕒10時～18時
休 年末年始、不定休

つばめで

おかいもの
世界中で愛される
逸品を手に入れよう!

道の駅 燕三条地場産センター



燕三条で生産された優れたデザインと高品質な商品を紹介。産業と観光の情報を発信する。物産館では伝統的な職人技から最先端の技術を駆使した製品まで約1万点もの洋食器・刃物・キッチン用品・鍋などが圧倒的なスケールで並び、「ものづくりのまち」燕三条で受け継がれる伝統に驚く。

所 三条市須頃1-17
☎0256-32-2311
🕒9時30分～17時30分
休 第1水曜日、年末年始

Tsubamesanjo Bit -The main restaurant-



厳選された燕三条産の食器類や食材を使用するレストラン。地元企業の逸品を展示販売するほか、360度の映像に囲まれながら料理を楽しめるプロジェクションマッピングルームもあり、燕三条を五感で楽しむ。

所 三条市須頃1-17(道の駅燕三条地場産センター1階)
☎0256-46-0680
🕒ランチ 11時30分～15時
ディナー 18時～23時(LO21時30分)
休 水曜、他不定休

お腹が
すいたら!

つばめ
ぐるめ



吉田商工会
レモンあえキャラクター
「レモンあえ子」

鶏肉のレモンあえ

鶏肉の唐揚げをレモンの入った甘酸っぱいたれでからめた料理は、学校給食のメニューの定番として多くの地元民に愛されている吉田地区のB級グルメ。



釜飯

燕市に釜飯が登場したのは昭和30年代。金属産業界の社長たちによって広められた。店によって様々な具材、味付けが楽しめる。



知って! 食べて!
体験して! 見て!

金属加工品だけじゃない!

つばめの農産物

金属加工で有名な燕市は実は農業も盛んで、市の土地面積の約半分は、田んぼや畑。
米はもちろん、野菜から果物まで幅広く生産している。
燕に来たら、季節ごとの新鮮な農産物を味わおう。



もとまちきゅうり



もとまち
吉田本町地区で生産。甘くやわらかく、爽やかな香りが特徴です。

出荷時期 3月上旬～11月下旬

えだまめ



さかなまめ
「湯あがり娘」「新潟茶豆」「肴豆」など、さまざまな品種があります。

出荷時期 6月上旬～10月中旬

もっと知ってほしい!



燕市の
「うんめえ〜」
農産物

農産物直売所

詳しくはこちら▶



道の駅「国上」農産物直売所

所 燕市国上5866-1
☎ 0256-98-0770
🕒 10時～17時30分 ※なくなり次第終了
休 月曜、祝日の場合は
営業、翌火曜休み
※冬期間は土・日曜・
祝日のみ営業



よrina～れ燕いち

所 燕市東太田2458-1
JA越後中央燕支店敷地内
☎ 0256-47-4173
🕒 10時～15時
休 水曜・年末年始



農産物直売所 ほのか

所 燕市東太田7051-1
☎ 0256-55-4142
🕒 9時30分～18時
休 1月1日～3日

ほっとするて～よしだ市

所 燕市吉田日之出町1-1
燕市民交流センター敷地内の車庫
📍 現地にて
🕒 10時～13時
5月下旬～12月下旬の火・土曜のみ
営業(7月～8月は木曜も営業)
冬期間休業

梨狩り 体験



小杉農園

燕市の中ノ口川沿いの肥沃な土地で、梨を中心に果物を作っています。
甘くてジューシーな梨を自分で収穫して、その場で食べてみませんか?

📅 8月上旬～10月下旬 **予約** 前日までに予約必要
所 燕市下見ノ木37 ☎ 0256-62-3897 📠 0256-62-3897
🕒 10時～17時 休 無休
¥ 入園料300円(収穫した分 1個200円～500円)

いちご 狩り体験



斉藤いちご園

新潟県で育成した品種「越後姫」はジューシーで糖度も高く、果肉も柔らかく。
頬張った瞬間、美味しさがジュワッと広がります。手作りのいちごジャムや
ジェラートなども販売。

📅 2月上旬～5月下旬 **予約** 要問合せ 所 燕市燕115
☎ 0256-47-1519 📠 0256-47-1592 🕒 10時～16時 休 無休
¥ 大人1,800円・子ども1,200円・幼児(3歳以上)500円 ※事前に要問い合わせ

田んぼ アート

5色の稲を使い、約40アール(4,000㎡)
の田んぼに巨大なアートを描きます。

開催時期
5月中旬～9月下旬
(6月中旬～8月上旬まで見学台あり)



※写真は令和3年度のデザインです。
デザインは毎年変わります。▶▶



5月



吉田天満宮祭礼

「出世天神」としても親しまれている天神様。祭りに出ている植木を買い求め、木が成木するころ祈願成就するといわれ、毎年5月24日・25日の天満宮祭礼には植木屋が軒を並べる。

5月



戸隠神社春季祭礼

木場小路と横町の2基の萬燈と「お玉ちゃん」が踊る「伊勢音頭」は一見の価値あり! サロード宮町には露店が並び、前日の宵宮から大いに賑わいをみせる。

2月



越後つばめの天神講

学問の神様・菅原道真公を命日に偲ぶ、天神講。燕では2月25日に色鮮やかなお菓子をお供えるのが特徴。天神講のお菓子を食べると勉強ができるようになる言い伝えがある。

10月

燕三条 工場の祭典

9月

越後くがみ山酒呑童子行列

燕青空即売会

7月

吉田まつり

分水まつり

飛燕夏まつり

燕大花火大会

5月

吉田天満宮祭礼

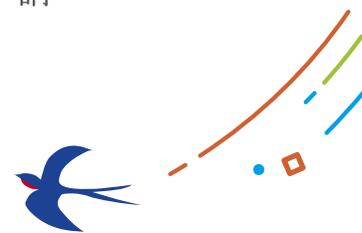
戸隠神社春季祭礼

4月 つばめ桜まつり・分水おいらんど中

3月 国上山山開き

2月 越後つばめの天神講

つばめ
イベントカレンダー



10月



燕青空即売会

金属加工産業のまちならではの、年に一度のビッグイベント。金属洋食器をはじめ、鍋・フライパン、包丁など台所用品や鋳起銅器製品が特別価格で販売。10月の第1日曜日開催。

9月



越後くがみ山酒呑童子行列

日本三大妖怪、最強の鬼と謳われる「酒呑童子」。誕生伝説の残る燕市では、所願成就を祈り、国上山の麓で、年に一度の鬼の集いが開かれる。参加者や来場者は、鬼変化して行列を歩いたりイベントを楽しんだりすることで、心願成就を祈願する。

7月



燕市夏まつり

職人の技と心意気を肩に担ぐ燕1000人みこしは「飛燕夏まつり」、最強の鬼・酒呑童子が暴れる太鼓の響演は「分水まつり」、幻想的な灯りとともに十数台の山車が巡行するのは「吉田まつり」。「燕大花火大会」が燕市夏まつりのフィナーレを飾る。

新潟県周辺図



ものづくり観光

- 1 燕市産業史料館
- 2 玉川堂
- 3 藤次郎
- 4 燕市磨き屋一番館
- 5 大泉物産
- 6 MGNET・武田金型製作所
- 7 トーダイ
- 8 ミノル製作所

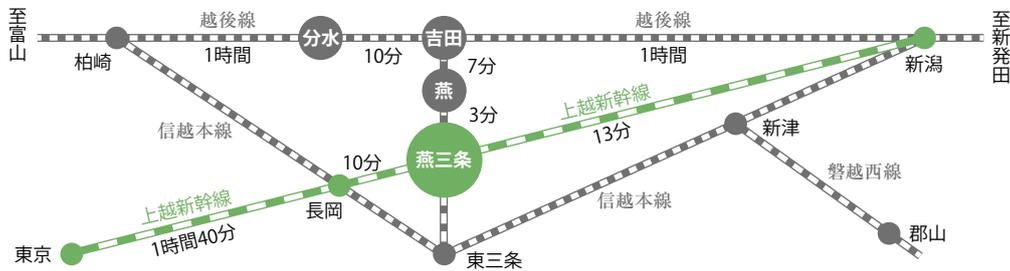
Tsubame Map



- お買いもの
- 観光スポット
- 花スポット
- 資料館



電車で

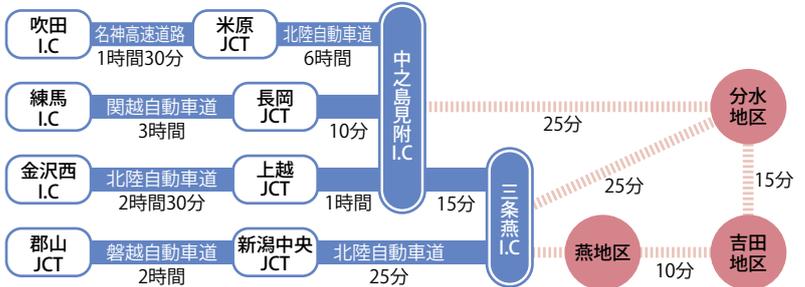


飛行機で

北海道	新千歳空港 1時間10分	新潟空港※
大阪	伊丹空港 1時間	
福岡	福岡空港 1時間40分	

※新潟空港から新潟駅まで車で20分。

車で



燕市役所 観光振興課

〒959-0295 新潟県燕市吉田西太田1934
TEL.0256-92-1111(代) FAX.0256-77-8306
<https://www.city.tsubame.niigata.jp/>



一般社団法人 燕市観光協会

〒959-1263 新潟県燕市大曲4330-1(燕市産業史料館内)
TEL.0256-64-7630 FAX.0256-64-7638
<https://tsubame-kankou.jp/>



※掲載写真は全てイメージです。
※本誌に掲載の価格は全て税込です。



協力 燕ジョイ活動部

燕ジョイ活動部とは

つばめ若者会議のプロジェクトの一つです。「燕ジョイ (ENJOY)」とプロジェクト名のとおり、メンバー自らが感じたことを楽しみながら様々なアクションを企画し実行しています。

つばめ若者会議公式WEBサイト
<https://tsubame-wakamono.com/>